

## 太田吉右衛門家文書概要

- 1: 文書群番号 105035
- 2: 文書群名 太田吉右衛門家文書
- 3: 出所 太田家
- 4: 家業・役職等 醤油醸造業、塩問屋
- 5: 地名 摂津国川辺郡尼崎市庭町／兵庫県川辺郡尼崎町ノ内尼崎町／尼崎市東本町
- 6: 行政区分 尼崎藩領／兵庫県第9区／尼崎町戸長役場／尼ヶ崎町／尼崎市
- 7: 歴史 醤油（生揚醤油）は尼崎の特産であり、大物町や築地町などで多く生産され、明治7年（1874）には尼崎の醤油生産額は兵庫県の生産額の4割を占めるにいたった。太田家（屋号・平野屋）は市庭町で醤油醸造業を営んだ家であり、近世後期には醤油の主原料である塩の間屋株も取得している。明治13年頃、同家の居宅と屋敷地が大物橋の南詰、市庭通りに面して東西にあったことが本文書群によって確認できるが、『尼崎郷土誌』（大正5年刊）によれば、明治23年以降は大物町の醤油醸造業者大塚万次郎の所有となったようである。
- 8: 伝来 平成7年11月に辻川敦より同氏収集文書を寄贈され、平成20年4月に整理・目録作成を完了した。
- 9: 史料入手先 辻川 敦（地域研究史料館職員）
- 10: 点数 20点（目録件数16件）
- 11: 年代 文政12（1829）～明治23（1890）
- 12: 構造と内容 本文書群は市庭町の醤油醸造業者太田家を出所とする文書群である。明治10年代の本宅・屋敷地質入れに関する証書類・屋敷図が多くを占める。また太田家の醤油醸造業（塩問屋株取得・奉公人）関係文書3点と、魚崎村（現神戸市東灘区）酒造場関係諸届けの綴り1点がある。
- 13: 関連史料 -
- 14: 閲覧条件 原本
- 15: 作成者 松迫寿代